

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	学校支援地域本部事業
施策体系 (第6次西川町総合計画)	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきする町づくり (2) 郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 学校教育の充実

所管課 ・係	学校教育課		
	教育総務係		
予算 科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	学校支援地域本部を設置し、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで学校教育活動を支援する体制の整備を行う。 そのために、学校支援地域コーディネーター1名を配置し、学校と地域の団体や地域住民のボランティア等との連絡調整を行う。
事業内容	学校と地域の団体や地域住民のボランティア等との連絡調整。 総合学習での習字、田んぼ学習、六十里越学習、花植え、団子刺し、菊植え、雑巾の使い方指導、地域探検、蚕飼育、しいたけ菌打ち、中学生のトライやるウィーク、郷土学習など。 登下校安全確保としてスクールバスへの乗車や通学路の巡回など、2名の安全指導員に児童生徒の見守り。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,886	補正額等	0	合計	1,886	決算額	1,593
備考							

4 事業の実施状況

1.学校支援地域本部実行委員会の開催(1回)委員数15人 2.本部の取組内容 (1)地域コーディネーターを1名配置 (2)安全ボランティアとして登下校の見守り、スクールバスに同乗し安全指導。2名で実施。 (3)西川小の学校田指導、総合学習講師、校外学習講師等の依頼。 (4)西川小図書館の本の手入れ、掃除を図書館ボランティアに依頼。

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	適切に対応している 概ね対応できている ほとんど対応できていない	学校からの要望と町民のできることの把握がうまくかみあっておらず、偏った人への協力依頼となっている。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	十分に効果が得られている ある程度の効果が得られている 効果があまり得られていない	ボランティアとして協力をお願いしている場合が多く、その他の費用としても経費はあまり発生していない。今後、協力内容に応じて報償などについて検討が必要。
有効性	期待された成果は得られたか	期待した成果が得られている 概ね期待した成果が得られている 期待した成果があまり得られていない	児童生徒と地域住民のふれあいの場を設定することができ、少ない時間でも町民の満足感や教師の負担軽減が図られている。

6 今後の対応等

方向性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	小学校への学習支援活動や読み聞かせ活動へのボランティアは年々定着してきており、また地域住民や各種団体から学校訪問の要望があることもあり、積極的に学校と関わっていただいているように感じられる。 継続して支援活動をしていただくために、コーディネーターについては学校と地域を結ぶ役割であることを再確認し、多くの地域住民からの支援を得られるように小中学校の需要を的確に把握し情報を発信していく方法を確立していくことが必要と思われる。 それと同時に、平成28年度から実施するコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の中で、各種地域協議会、学